



広報 かしわら

Kashiwara

増刊号

2015年3月

VOL.02

かしわらの HERO 特別編

ゴジラをつくった男

“ええもん” 探しに出かけよう

柏原の地産地消イベント

「とくとくトラック市」

今年度スタート！塾講師の受験対策講習

教育のイマドキ！



表紙▶ 柏原中学校生徒会のみなさん 中甚兵衛銅像前にて

特集1

ゴジラを

つくった男

日本版映画『ゴジラ』昭和シリーズ・平成シリーズ各作品の、冒頭クレジットに出てくる名前がある。

「製作 田中友幸」。

その人物こそ『ゴジラ』の生みの親であり、

柏原市出身という事実を知っているだろうか。

東宝のプロデューサーとして223本のタイトルに関わり、

生涯を映画製作に注いだ田中さんを知る人は、今では市内でも少なくなった。

一方で『ゴジラ』は、昭和29年の封切りから60年以上経つ今もお

米国でリメイク版が公開されるなど国内外で絶大な人気を誇る。

偉大なる功績を遺した柏原市出身者・田中友幸さんの活躍を改めて追った。

ゴジラの生みの親は、
柏原市で生まれた

田中友幸さんは、明治43年に堅下（柏原市）で生まれた。当時の記録はほとんど残っていないが、田中さんを知る人によると「小学校においても、将来は突飛な映画を製作したいと話していた。当時、雲をもつかむ奇抜なアイデアの持ち主であった」というエピソードがある。

八尾中学校（現在の八尾高等学校）を卒業し、関西大学経済学部に入學した田中さんは、在学中は学生演劇に熱中した。昭和14年には第二次世界大戦による教育招集で入隊するが、半年で除隊となる。翌15年、知人の紹介で大阪の映画製作会社である大宝に入

かしわらの

HERO 特別編

田中 友幸（たなかともゆき）さん
映画プロデューサー

製作作品：『ゴジラ』『地球防衛軍』『ジャコ万と鉄』『用心棒』※共同制作 / 菊島隆三 ほか

PROFILE

明治 43 年柏原市生まれ。平成 9 年没。
享年 86。昭和 15 年に大宝に入社し、
黄金期に活躍した映画プロデューサーの
1 人。東宝映画代表取締役社長・会長、
日本創造企画社長・会長などを歴任。



写真は、日本映画テレビプロデューサー協会（旧日本映画テレビ製作者協会）の会長時代に所轄官庁より認可を受けて社団法人とした功績などが称えられ、昭和 56 年に叙勲「勲三等瑞宝章」が授与されたときの 1 枚。



©TOHO CO., LTD.

映画界での功績 不朽の名作『ゴジラ』

社し、希望通り映画業界へ
ところが同年、東宝による吸
収合併があり、京都撮影所を
経て、東京で東宝のプロデュー
サーとして活動することとなっ
た。

昭和 25 年から 33 年ごろは、
日本映画の黄金時代といわれ
る。数多くの名作が誕生し、
田中さんもその時代を支えた
1 人である。昭和 19 年の映画
プロデューサーデビュー以来、
東宝で製作を手掛けた映画は
223 本。代表作が『ゴジラ』
だ。

『ゴジラ』誕生のきっかけは、昭和29年に日本を震撼させた「第五福竜丸事件」だった。米国が南太平洋マーシャル諸島のビキニ環礁で水爆実験を実施し、日本のマグロ漁船「第五福竜丸」の乗組員が被ばくした。このニュースを受けて田中さんは、大学生のころに夢中になった『キングコング』などからもヒントを得て、「水爆実験で南太平洋の海底に眠っていた恐竜が目覚まし、人類は自ら作った文明から復讐を受ける」という物語を考える。仮の題名を『海底二万哩から来た大怪獣』とした企画は、すぐに承認された。

当時東宝では、プロデューサーが製作に係る企画、スタッフの起用（台本作家を始めとするスタッフ）、キャスト選びなどの権限を持っていた。田中さんは、幻想的な小説を得意とする作家・香山滋さんに原作、本多猪四郎さんに監督を依頼。特殊技術については円谷英二さんに相談し、まだ名もない大怪獣の創造に情熱を注いだ。

『ゴジラ』という名は、「ゴリラ」と「クジラ」による造語で、東宝にいた男性の「グジラ」というあだ名を気に入って名付

けた。また姿・形では、二足歩行の恐竜というイメージを土台に、試行錯誤の末、海底での棲息や、水爆実験の被ばくを連想させるワニの肌のような造形を体の表面に加えた。当初はマスコミからゲテモノ扱いされたというが、生みの親の愛情に応えるように大ヒットを記録する。

昭和29年11月3日『ゴジラ』封切り初日。ハチ公前から渋谷東宝につながる長い行列を見た田中さんは、『ゴジラ』を観に来てくれたお客さままだと気づき、電撃のような感動の波が身体の中を駆け抜けた」と語ったという。その後も、平成7年までのシリーズ全作のプロデューサーに携わり、その功績は国内外で広く認められている。国内では数々の賞を受賞したほか、平成10年に公開された米国版『GODZILLA』では、エンドクレジットの最後に「田中友幸氏の思い出に捧げる」という一文が記された。

「突飛な映画を製作したい」と語った幼い日の田中さんの夢は現実のものとなり、『ゴジラ』は誕生から半世紀以上経つ今も、世界で愛され続けている。

田中友幸さんのもうひとつの顔

大阪万国博覧会「三菱未来館」を成功に導く

田中さんといえば映画プロデューサーのイメージが強いが、映画製作以外の分野でも手腕を発揮している。

昭和45年に開催された大阪万国博覧会で、東宝は一部のパビリオンの企画・制作に協力し、田中さんは企業パビリオン「三菱未来館」の総合プロデューサーを務めた。

同館のテーマは「日本の自然と日本人の夢」。50年後の日本を、「ホリミラースクリーン」という新しい映写技術で演出した。展示室の天井・床すべてが鏡であり、内側全部に映像が映し出される仕掛けで、来場者は

動く歩道に乗って、嵐の中や溶岩が流れる火山帯などを疑似体験できた。自然が猛威を振るう映像はハワイ島のキラウエア火山で実景を撮影するなど、東宝の強みである特撮技術を駆使した企画により、同館は子どもを含め1156万人を動員。人気ナンバー3パビリオンとして好評を博した。

翌年には、同館の総合プロデューサーと展示設計に参画したメンバーにより、日本創造企画株式会社が設立され、田中さんは創業社長に就任する。その後も「海洋博」「ポートピア'81」「つくば万博」を手掛けるなど、イベント・プロデューサーとしても広く活躍した。



大阪万国博覧会「三菱未来館」

- 参考資料 『神を放った男 映画製作者・田中友幸とその時代』（田中文雄著 株式会社キネマ旬報社 1993年）
 『ゴジラ・デイズ ゴジラ映画40年史』（田中友幸・有川貞昌・中野昭慶・川北紘一・冠木新市著 株式会社集英社 1993年）
 『「ゴジラ」東宝特撮未発表資料アーカイブ プロデューサー・田中友幸とその時代』（木原浩勝・清水俊文・中村哲著 株式会社角川書店 2010年）
 『SF・特撮ビジュアルマガジン 宇宙船』（株式会社ホビージャパン 2004年11月号）
 『日本万国博覧会 公式ガイド』（日本万国博覧会協会著 1970年）
 『EXPO'70 おおさか・きょうと・なら・こうべ』（住友グループ 1970年）
- 協力 東宝株式会社、日本創造企画株式会社、田中 政男、前田 茂雄、川北 紘一 特技監督、大森 一樹 監督、辻井 清吾

『ゴジラ』製作現場での田中友幸さんを知る方々に取材をお願いしました。(平成 26 年 9 月)

平成元年公開
『ゴジラVSビオランテ』の
監督が語る
**ゴジラと
田中友幸**

『ゴジラVSビオランテ』を
初めて試写した後、
ユウコウ（友幸）さんは
スタッフの誰よりも興奮した様子で
「とても良い。ありがとう」と
立ち上がって
握手をしてくださいました。
公開から20年以上経ち、
昨年ゴジラ生誕60周年を
記念して行われた
歴代作品の人気投票で、
28作品中で第1位に。
一番最初から
作品の良さをわかっていたのは、
ユウコウさんだけだった。

大森一樹監督

ゴジラに命を 吹き込んだ特撮技術

「映画作りには感性だけでなく、技術が必要」というのが、円谷英二特技監督や本多猪四郎監督の時代から代々受け継がれる東宝の魂でした。

当時の特撮技術といえば、CGではなくて実写。監督が怪獣にまで演技指導をしていたわけです。コンピュータにはそんなことはしないでしょう（笑）。要するに、ミニチュアなどのアナログ技術でも、フルスケールでも、ミニチュアワーク特撮でも、「実写」であることに変わりはありません。だからゴジラが持つ「鈍重さ」と「強さ」をダイナミックに表現できた。特撮技術によってパワフルなゴジラが街を破壊するシーンが、子どもたちが持つある種の願望を代行してくれているようで、幅広い世代に受け入れられたのだと思います。



川北 紘一 特技監督

昭和17年東京生まれ。ゴジラシリーズでは8作品で特技監督を務めた。平成3年日本アカデミー賞特殊技術賞など受賞。大阪芸術大学客員教授。

田中さん自身が ゴジラだった

田中さんは、現場で「ユウコウ（友幸）さん」と呼ばれていました。寡黙な方でした。ゴジラを考え出した人であり、黒澤明監督の『用心棒』なども手掛けた大プロデューサーです。

『ゴジラVSビオランテ』の撮影当時は、もうご高齢でしたが、撮影現場にも足を運んでくださっていました。ある時、「登場する超能力少女に念力でゴジラを持ち上げさせよう」と提案したところ、ユウコウさんは「ゴジラにそんなことできない」と。結局、持ち上がりませんでした（笑）。いつ何を聞いても、「ゴジラにそれはできる・できない」とすぐに判断できたのは、きっとユウコウさん自身が、ゴジラだったからなんですよね。



大森 一樹 監督

昭和27年大阪市生まれ。昭和61年日本アカデミー賞優秀脚本賞・優秀監督賞など受賞。大阪芸術大学芸術学部映像学科長。

今回取材でお世話になりました川北紘一さんが、平成26年12月5日に逝去されました。（72歳）

川北紘一さんのご生前のご厚情に深く感謝するとともに、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

“ええもん”探しに出かけよう

特集 2

柏原の地産地消イベントを取材！



地元の「ええもん」がトラックでやって来る

地産地消とにぎわいづくりを目的として平成25年12月から始まった「とくとくトラック市」の第4回目が、昨年12月に開催された。出店数は回を重ねるごとに増え、これまでで最大の22店舗に。当日は、柏原市で採れた旬の野菜や果物をはじめ、さまざまな地元の「ええもん」がトラックに積まれて柏原市役所横の駐車場に集合。朝9時から、目当てのものを求めて多くの人が訪れた。

好評につき、今年も開催を予定。地元の活性化にもつながる地産地消イベントに、皆さんぜひ参加を。

柏原とくとくトラック市は、地元商店ファンを増やして地域の活性化につなげたいという想いで始まった地元物産品などの販売イベントです。新鮮な野菜、美味しいと定評のあるお菓子にお煎餅、泉佐野漁港からの新鮮な魚などいろいろご用意しています。ぜひ一度、トラック市にお越しください。柏原の良さを感じてください。



担当者からのメッセージ

産業振興課 船富 督央

地産地消とは

「地域生産・地域消費」の略語で、地域で生産されたものをその地域で消費すること。また促進活動を通じて、農業者と消費者を結びつける取り組みと、地域の農業・関連産業の活性化を図ること。

1 美味しい旬の野菜と果物があちこちに。

JAの農産物直売所「畑のつづき」や個人農家による出店ブースには、柏原産や大阪産（もん）の新鮮な野菜と果物が並ぶ。産地が明確なため安心・安全で、旬の農作物は栄養価も高い。生産者に直接、美味しい食べ方や保存方法などを聞きながら選べるのも楽しみのひとつだ。



普段は市場に卸している野菜や果物を直売。「ようけ買ったけど、一回持って帰ってからまた来よかな」と話すお客さんの声が聞こえてきた。



「おいしい、おいしい」柏原産の採れたてみかんを頬張る皆さん。



「露地栽培で作るため、自然そのままの味」という本郷ふれあい朝市の野菜。



2 開店前から大行列！市外から新鮮な魚も。

泉佐野漁港から生きたまま魚を運び、販売するブースが大人気。「前回来た時に良かったから」「新鮮なお魚が手に入るのを楽しみ」と、開店前から50人を超える行列ができた。チヌ（クロダイ）、エビ、エイ、タコなど種類が豊富で、ピチピチと跳ねる鮮魚は、子どもも大人も見えて楽しめる。1時間程度で完売する中、エイを買ったご夫婦は「帰ったら2人で料理します」と笑顔で話した。



「前日に捕った新鮮な魚をいけすで運んで来ています。たくさんの人に買ってもらいたいです」



【管理栄養士さんに聞きました】
旬の野菜・地元の野菜の
良いところは？

旬の野菜を使うと、素材そのものが美味しいため、薄い味付けでも美味しくいただけます。また、最も適している時期に作るため、使う農薬量も少なくなるといわれています。

地球温暖化や環境破壊の影響で、その栄養価は少しずつ減少しているといわれる中、安心にかつ、その栄養をより多く摂るために、生産者や育てられた環境が見える地元の旬の食材を上手に買い求め、健康的な食生活を目指しましょう。

3 地元のお店と触れ合うのも、ええもんだ。

出店ブースの大半は、柏原市内にある企業や商店。食品、雑貨、衣料品など業種はさまざま。中には大阪府が認定する大阪産（もん）に登録される商品もあり、会場内のブースをまわると地元の特産や新しい取り組みを知る機会にもなる。気に入ったお店が見つければ、気軽に店舗へ買いに行けるのも地元ならではの魅力だ。



①綿実油を使った天ぷらの試食を提供されていた岡村製油株式会社。②お茶の試飲・販売や、あられ・かりんとうなどのお茶に合うお菓子を販売されていた寺田園茶舗。



③買ってその場ですぐに食べられる食事エリアもあり。④感謝の気持ちを込めて、今回は買い物をされたお客さんに抽選会を開催。

4 買って、食べて、広めて地域の応援を。

このイベントをきっかけに、「市民の方にもっと地元のお店と商品を知ってもらいたい」「国道25号を走る市外のドライバーに道の駅のような感覚で寄ってもらい、柏原の知名度を上げる取り組みにしたい」というのが主催者・柏原市商工会の想いでもある。イベントに参加して商品を買ったり、知人に紹介したりすれば、地元の生産者を応援でき地場産業の活性化にもつながる。



次回の「とくとくトラック市」については、詳細が決まり次第、市ウェブサイトや広報誌などでお知らせします。ご期待ください！

出店者一覧（五十音順） アンジュブラン、泉佐野漁港、岡崎商店、御菓子司かつら屋、岡村製油株式会社、傘こぼやし、さくらコレクション、サンヒル柏原、JA 大阪中河内畑のつづき柏原店、商工会女性部、商工会青年部、シルバー人材センター、多田米穀店、タナベベビーハウス、寺田園茶舗、ハッピー、福井商店、本郷ふれあい朝市、三浦農園、藪下農園、株式会社ヤマサ食品、吉田農園



地域の特産品を使って

今回でトラック市へ2回目の参加となる「御菓子司かつら屋」は、昨年で創業50年を迎えたオガタ通りにある老舗の和菓子店。ぶどう大福や、いちじくパイなど河内地域の特産品である「ぶどう」「いちじく」を使った菓子の開発に力を入れている。代表取締役の奥田さんは、「地域の食材を使うことで、地場産業の活性化につなげていきたい。これからは果物に限らず地域の食材を使ったお菓子作りをしていきたい」と話す。

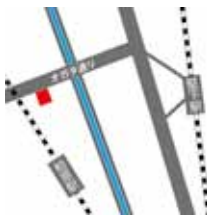
御菓子司かつら屋 柏原店

☎ 072-973-0620

📍 柏原市清州 1-3-20

🕒 9:00 ~ 19:00

📅 火曜日



うちの逸品

河内もなか

ぶどうの葉をモチーフにした見た目で、中身には白あんと干しぶどうを使用し、大阪産（もん）名品にも登録されているかつら屋自慢の一品。



〃一丁懸命〃を合言葉に

豆腐・厚揚げ・がんもどきなどを作っている食品メーカー。一丁ずつ懸命に作ること〃一丁懸命〃を合言葉に、素材にこだわった豆腐作りをしている。「手作りがんも(写真右上)」の具材(しいたけ・にんじん・ぎんなんなど)には、全て国産を使用。具材も大きく、風味を存分に楽しめる。「普段は、スーパーや学校などに商品を卸しています。トラック市は、直接、お客さんと接することができます貴重な機会です」と代表取締役の折戸さん。

株式会社ヤマサ食品

☎ 072-976-2888

📍 柏原市国分東条町

25-1 🕒 9:00 ~ 19:00

📅 日曜日



うちの逸品

本格田舎とうふ

材料には国産大豆、塩田にがりを使用し、木綿豆腐の間にざる豆腐を挟み込んで、新しい食感を生み出したヤマサ食品のこだわりが詰まった豆腐。





「地元好み」を大切に

平日昼間の取材時も、お客さんが途切れない人気ぶりだ。3人のパティシエがつくるケーキと焼き菓子は、それぞれ20種類以上と豊富で、特注にも柔軟に対応する。オーナーの大西さんは「地元の方の好みに合わせたい。最近は甘さ控えめ」と話す。「市内ではまだまだうちを知らない人も多い」と、トラック市にはこれまで毎回参加。常連さんの声に添えて価格を通常よりお得にし、シヨップカードを渡すなど新たなファンの獲得に期待する。



河内ワインカステラ

生地にカタシモワインフードの白ワインを練りこみ、ふっくらと焼きあげた後、さらにワインを炊いたシロップで風味付け。帰省のお土産などにも人気。

アンジュ・ブラン 洋菓子店

☎ 072-973-1010

📍 柏原市法善寺 4-2-21

🕒 10:00 ~ 20:00

📅 なし



柏原の甘～いみかん、どうぞ

「みかんは、愛媛や和歌山などの産地がブランド価値を確立していて有名。でも、柏原産も味では決して負けない」と吉田さんは話す。トラック市での試食も「甘い、美味しい」と好評で、持ってきた商品は完売。中には、買って帰ったら美味しかったので追加で買いに来たという方もいたそう。

「当園は直売などの販売店舗が無いので、普段は中央卸売市場に出荷しているが、ブランド価値がないせいもあり、取引値段が安く採算が合わないのが実情」と語る一方で、トラック市のように直接消費者と取引できる機会は、つくり手の喜びを実感する場でもあるという。「樹上完熟させた、甘～いみかんを皆さまに定期的にお届けできる機会があればうれしい」。



うちの逸品



吉田農園

☎ 072-977-7234

📍 柏原市国分東条町 20-19



EDUCATION

特集3 教育のイマドキ！



民間の塾講師を活用！



「小学生のころに学校を休んでから、分からなくなっていた基礎的な計算が理解できた」と成長を喜ぶ生徒も。

市内の教育現場では、小中学生の学力向上に向けて次々に特色ある取り組みを行っています。

産学官の連携や幼小中一貫教育による相乗効果も期待される、今どきの教育をご紹介します。

中学3年生の受験対策講習

NEW
平成26年
スタート

中学3年生を対象に、民間の塾講師がグループワーク中心の数学の補習を行っている。講師陣は、有名塾や予備校などでの指導経験を持つ。参加する生徒は「少人数で分かりやすい。教え合いができるので解くのが楽しい」と話した。

市内4中学校で授業時間外（朝・放課後）に週1回実施

◆塾講師からのメッセージ

テーマは「学校の中に塾を」。早く問題が解けた生徒は他の生徒を教えるスタイルで、あえて学校の授業とは別空間という雰囲気を大切にしています。普段は「教えられる立場」の生徒が、ここでは「教える立場」になる機会も多いので、解く楽しさを感じてやる気につながればうれしい。



岡賀 武司さん

小中学校の英語教育



ネイティブの先生が指導！

小学校の外国語活動の推進と中学校の英語教育の充実のため、各中学校区に1人ずつ外国語指導助手（ALT）を配置。小中学生の英語の授業をサポートしている。

大学生が放課後学習支援！



活動時間外にも、宿題の採点や毎週ミーティングを行い指導案を作成するなど、きめ細やかな児童の支援に励む学習指導員。

スタディ・アフター・スクール (SAS)

教師や臨床心理士などを目指す大阪教育大学・関西福祉科学大学の学生や地域ボランティアが、学習指導員として小学生の自主学習を支援している。宿題のサポートを中心に、オリジナルの授業や異学年の児童らが一緒に遊びを楽しむ時間を設けるなど、コミュニケーション能力向上にも取り組んでいる。

市内全小学校で放課後に週1～3回実施

幼小中 一貫教育

平成18年に内閣府の『生きる学力育成』小中一貫教育特区に認定されて以来、現在は市内全域で実施している幼小中一貫教育の現状とは。小中学生の合同行事を取材しました。

6年生が中学校を体験

堅下南小学校（南小）と堅下南中学校（南中）は、平成22年度から小学6年生の中学1日体験授業を行っている。授業の一部ではなく丸一日の体験学習は、市内で同校区のみ。学力向上や中学校生活になじめず、不登校などになる中1ギャップ解消への効果を期待する取り組みの1つだ。

この日、南小6年生の83人は、校外学習に出かけた南中2年生の教室を利用して、1～5時間目まで中学校生活を体験した。授業は南中の教諭が行い、南小の教諭がサポートする。両校は、小中の垣根を越えて準備をしてきた。



社会、国語、保健、数学、技術・家庭科を体験



入学前に心の準備を

堅下南小学校 × 堅下南中学校

新生活にワクワク 中学校に通う楽しみ見つけた！

先生や先輩と笑顔の交流

社会の授業では、「歴史」をテーマに、記録することの大切さを学ぶ。教材には児童の関心に合わせて、人気漫画のストーリーが活用された。小学生の主人公が、タイムマシーンに乗って自分の生まれた時の様子を見に行く話だ。

「みんなも自分の誕生日を振り返ってみよう」。児童たちは、生まれた年の主な出来事が分かる資料を使って調べ始めた。「あなたの誕生日は何の日？」「銀行が合併した日」。先生の質問に児童が答えるたびに、「おー」と歓声が上がると、歴史を知ると、特別な1日に感じられるのだ。

授業の終盤、先生は「今、きみたちも歴史を作っている。3秒息を止めてみて」と



給食の時間に先輩とにつきり挨拶

言った。みんなで一斉に息を止める。「1、2、3…ほら、歴史ができた！今日は、息を止めた日」。児童たちは顔を見合わせて大笑いした。

別の授業では、小中学生が間接的に交流する一幕も。「クラブ活動が大変そう」「図書室の本がいっぱいありそう」など児童から中学校へのイメージを聞いた後、先生はあらかじめ撮影していた中学生からのビデオレターの映像を流した。「部活は大変なこともあるけれど、それ以上に仲間との毎日の練習が試合の結果につながるとうれしいよ！」。思わぬ先輩からの返事を、笑顔で見つめる児童たち。授業後には「楽しかった」「バドミントン部に入りたい」などと話し、中学校生活への期待を膨らませた。



中学生からのビデオレターを見る児童

使 つてく ださい ！ 丹精込めてつくった座布団



地域とのつながりを育む

国分小学校・国分東小学校×国分中学校

贈り物が結ぶ心の交流



冬になると、近鉄河内国分駅のベンチに敷かれる手作りの座布団が、電車の待ち時間の寒さを和らげてくれる。座布団を製作し、寄贈するのは、国分中学校（国中）の生徒と国分小学校・国分東小学校の児童たちだ。もともと国中が地域のために行っていたボランティア活動を、平成25年から同学区の小学校児童会と合同で取り組んでいる。

「針で手を刺さないようにしてくださいね」。12月下旬



国分東小学校での製作風景



の放課後、国中の生徒会メンバーが布や綿などの材料を持って各小学校を訪ねた。児童たちは、手際の良い中学生の先輩から作り方を習う。布を三方縫い合わせる。スポンジを入れる。紐を付け、残りの一方を縫い合わせる。裁縫は小学校の家庭科の授業でも行うが、慣れない作業だ。「並縫いは分かりますか?」「玉止めはできますか?」先輩がフォローしながら完成させる。この取り組みを担当する国中の



近鉄河内国分駅での設置作業

先生は、「同じ学区の中学生と接することで、児童たちにとっては入学後のイメージにもつながる」と話す。

有志による30人の生徒の協力も得て、3日間で108個の座布団を仕上げた。1個ずつ学校名を記したタグも縫い付ける。これを見た市民の方から、毎年学校に御礼の手紙が届くという。

準備から製作、設置まで座布団づくりの全般を担う国中の生徒会メンバーは、「座った時にずれないように、できるだけ細かく縫っています」「座ってもらっているのを見るとうれしい。丹精込めてつくった座布団をぜひ使ってください」と話した。

この座布団は、12月下旬から3月上旬まで、近鉄河内国分駅のホームに設置される。

教えてくれた人
教育委員会
指導課 指導主事
津田 亮



教えて！

幼小中一貫教育

現在、市内全域で実施されている「幼小中一貫教育」って、一体どんな教育？素朴な疑問や具体的な取り組みについて聞きました。

Q 幼小中一貫教育の良い点は？

A 幼児期から中学校まで一貫して子どもを見ることで、よりきめ細かい手だてができるようになりました。また、子ども同士の交流が増えることで、つながりや活躍の場が増えたり、次の学校での不安が減ったりしています。



Q 具体的にどんな取り組みをしているの？

A 市内6中学校区がそれぞれ幼児・児童・生徒による合同行事や幼小中教員の会議、地域や保護者との連携強化に向けたさまざまな取り組みを実施しています。以下はその一例です。

取り組みの一部をご紹介します！

柏原中学校区



柏原中学校区3校合同研修会

小中3校の教職員が生徒指導上の課題を発表・交流。事例をもとに、解決に向けた集団づくりを考え、共通理解を図る。

堅下北中学校区



リーダー研修会

中学校リーダーと小学校児童会が、グループでひとつのテーマについて1日かけて話し合い、交流を深める。

玉手中学校区



小中クラブ交流

中学生が、2つの小学校の4～6年生に指導するクラブ交流。中1ギャップを解消し、中学校生活への期待を高める。

堅上中学校区



かけはしロード

校区内の「絆」を深める取り組みとして、八尾土木事務所の協力を得て、幼小中毎に毎年ボードを作製して歩道に設置する。

堅下南中学校区



小中合同遠足

南小3年生と南中2年生を対象として、バーベキューやレクリエーションを中心に楽しく交流する。

国分中学校区



小中あいさつ運動

あいさつの大切さや素晴らしさを確認し合い、心の通い合った地域づくりを進めるため、小中合同であいさつ運動を行う。

Q 他県や大阪府の
取り組み状況は？



A 現在分かっているだけで全国の12%の市区町村が小中一貫教育を実施しています。また、大阪府下でも、柏原市の他に箕面市、寝屋川市、大阪市、堺市などが独自で取り組みを進めています。

Q 市外に転校した場合、
学習内容に心配はない？

A 幼小中一貫教育といっても、学習内容は学習指導要領に沿って日々の教育活動を行っているため、柏原市から市外へ転校しても状況はあまり変わらず、心配はありません。



柏原市の
目指す子ども像

1 自分あんじょう＜自己実現＞
自分大好き、
何でもチャレンジ、
夢を語れる「かしわらっ子」

2 相手あんじょう＜思いやり＞
自分の思いが言える、
仲間の思いが聞ける
「かしわらっ子」

3 社会あんじょう＜社会貢献＞
郷土柏原を愛し、
地域・社会に貢献できる
「かしわらっ子」



Teacher

教科担任同士の会議で小学校の先生から授業内容を聞き、中学校へ入学後の授業に生かそうと思った。(中学校教諭)

児童たちに中学校生活に対するイメージを聞くと、予想以上に良い答えが多くて驚いた。(小学校教諭)

入学前に中学校と交流していると、児童を送り出すのに安心感がある。(小学校教諭)

小中学生の合同遠足で、中学生が自ら道路側を歩いたり、手をつないだりして児童の面倒を見てあげていた。日ごろ見られない姿に感動した。(中学校教諭)

先生と子どもたちに聞きました
～取り組みを通じて感じたこと～

小中学生が仲良くするのは良いことだけど、小学生が中学生に対してある程度の緊張感を持つことも大切だと思う。(中学校教諭)

中学校での体験授業で、教室から見える景色がいつもと違って新鮮だった。(小学生)

合同行事が楽しかった。(小学生)

行事で話した児童が、すれ違ったときに覚えていてくれてうれしかった。(中学生)

Student



Q 小学生と中学生は
一緒に校舎で勉強するの？

A 一緒に校舎で勉強はしませんが、小学校と中学校の先生が互いの学校を行き来して授業を行ったり、時には児童と生徒が行き来したり、一緒に体育大会や校外学習といった行事に参加するなどしています。





特産品
続々登場！

えらべるおいしいプレゼントあります。

ふるさと納税

寄附いただいた方には、感謝の気持ちとして記念品をお贈りします。
※市内協力企業も募集中。詳しくは右記まで。

問合せ 企画調整課 ☎ 971-1000

柏原市 ふるさと納税

検索



いいね！ 柏原



柏原市公式ページ
Facebook

市の魅力やニュースを、写真中心に分かりやすく発信！

<https://www.facebook.com/kashiwara.city>

広告欄▼



※広告および広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。また、これらの事業者および内容について市が推奨等をするものではありません。